

中部横断自動車道（長坂～八千穂）長野県区間の 1 kmルート帯及びICの概略位置の説明会

～ 本日の説明 ～

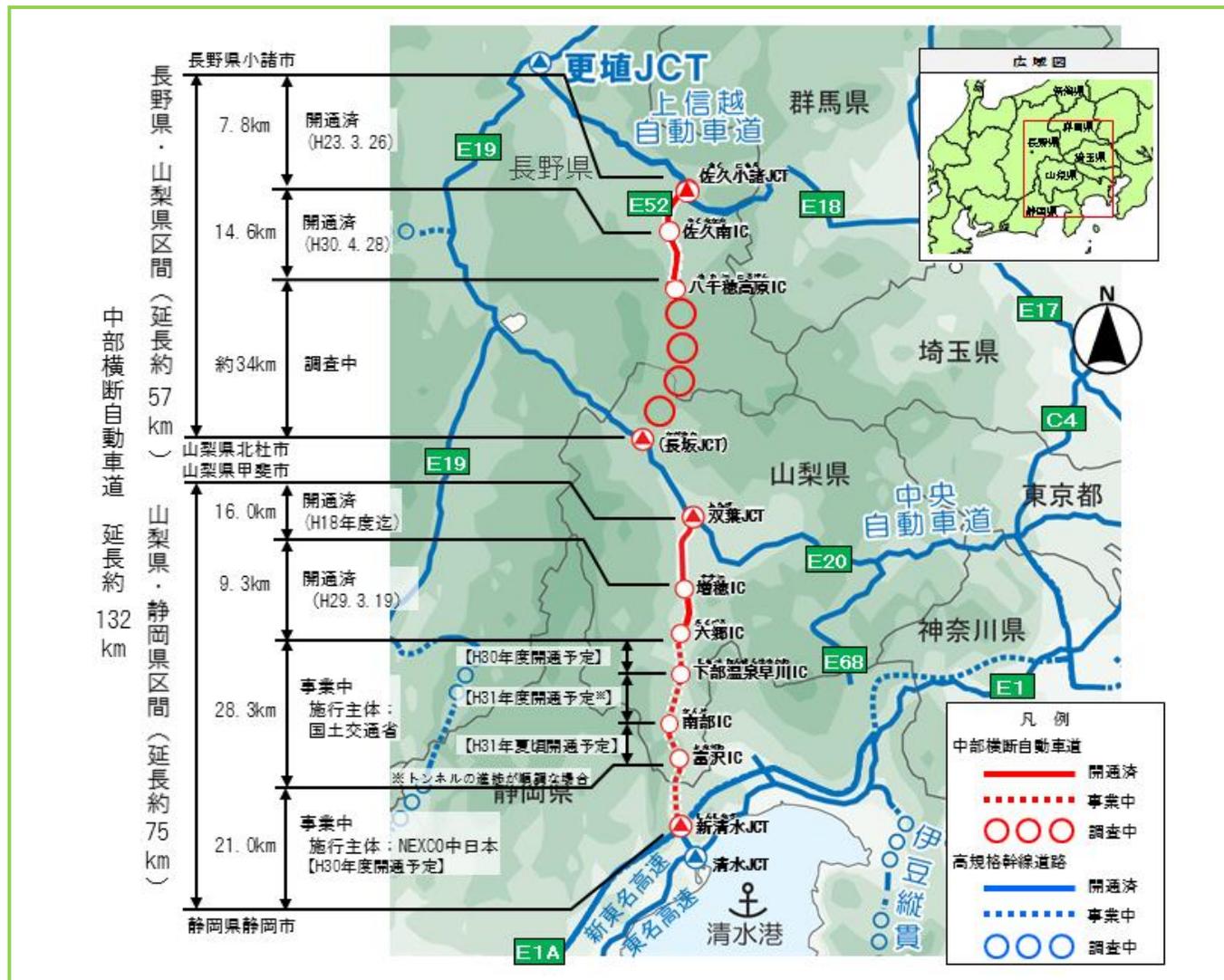
1. 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
2. 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
3. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置の考え方について（長野国道）
4. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置について（長野国道）

～ 本日の説明 ～

1. 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
2. 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
3. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置の考え方について（長野国道）
4. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置について（長野国道）

中部横断自動車道の概要

- 中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を經由して、長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。
- 山梨県北杜市から長野県南佐久郡佐久穂町の区間（長坂～八千穂）については、平成22年度から計画段階評価を進め、平成27年4月に対応方針が決定しているところです。



中部横断自動車道(長坂～八千穂) 検討経緯

第1回計画調整
会議資料

地方小委員会

(H27. 4. 9)

対応方針の決定

(H22. 12. 2)
第1回 地方小委員会
【審議事項】・地域の課題
・対象路線整備の目標

(H23. 1. 20)
第2回 地方小委員会
【審議事項】・対象路線整備の複数案の設定
・地域の意見聴取方法

(H23. 2. 17～H23. 3. 25)
●第1回コミュニケーション活動
【活動内容】

- ・アンケート
- ・意見聴取
- ・課題・目標
- ・対策案の妥当性

(H23. 7. 7)
第3回 地方小委員会
【審議事項】・第1回コミュニケーション活動結果を踏まえた第2回コミュニケーション活動の実施方法

(H23. 10. 5)
第4回 地方小委員会
【審議事項】・第1回コミュニケーション活動結果を踏まえた第2回コミュニケーション活動の実施方法

(H24. 1. 27～H24. 2. 27)
●第2回コミュニケーション活動
【活動内容】

- ・アンケート
- ・意見聴取
- ・対策案の評価
- ・オープンハウス

(H24. 4. 12)
第5回 地方小委員会
【審議事項】

- ・第2回コミュニケーション活動結果の報告
- ・中間とりまとめ
- ・追加的なコミュニケーション活動の実施方法

(H24. 7. 8)
追加的なコミュニケーション活動(意見交換会)
【議事】

- ・これまでの活動報告
- ・意見交換

(テーマ)

- ・環境・景観について
- ・旧清里有料道路の活用について

(H24. 10. 4)
第6回 地方小委員会
【審議事項】

- ・意見交換会(平成24年7月8日)の報告
- ・自治体等からの意見の報告
- ・国土交通省あてに頂いた地域団体等からの意見の報告
- ・国土交通省あてに頂いた個人の方からの意見の報告
- ・中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価の進め方

ワーキンググループ(WG)
【審議事項】

- ・ルートの検討

(H26. 7. 23)
第7回地方小委員会
【審議事項】

- ・山梨県内区間のルート検討
- ・地域とのコミュニケーション活動
- ・これまでの地域とのコミュニケーション活動の結果とりまとめ
- ・これまでのルート検討経緯
- ・対応方針(案)

●ワーキンググループ

【検討内容】

- ・ワーキンググループ(WG)は、山梨県内区間のルート検討を行う(山梨県境に近い長野県内区間の一部は必要に応じて対象とする)。

【検討方法】

- ・複数ルート案を確認の上、現地調査・地元説明会を経つつ検討を行い、ルート案をとりまとめる。

【進め方】

第1回WG
(H24. 11. 21)
・複数ルート案の確認
・現地調査の実施方針の確認

第2回WG
(H25. 1. 12)
・現地調査の実施

地元説明会
H25. 1. 30～
H25. 2. 16間
北杜市：10回
南牧村：1回
(延べ1,960人)

第3回WG
(H25. 6. 27)
・地元説明会の報告
・頂いたご意見の報告
・山梨県内区間のルート案とりまとめ

中部横断自動車道(長坂～八千穂) 対応方針

【ルート帯案の考え方】

- ・土地利用(住宅地・集落、別荘地、農地)への配慮
- ・自然環境(貴重な動植物の生息地、湧水群)や景観に配慮
- ・観光地(清里地域等)へのアクセス性に配慮
- ・コスト縮減に配慮

【IC概略位置(山梨県側)の考え方】

- ・住宅地・集落や公共施設へのアクセス性に配慮
- ・観光地(清里地域等)へのアクセス性に配慮
- ・主要な道路への連結に配慮
- ・連結位置の間隔に配慮

中部横断自動車道(長坂～八千穂) L=約34km

新たに道路を整備する区間



	ルート帯案
	IC概略位置

	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	住宅地・集落
	別荘地
	牧場・スキー場
	国定公園
	鳥獣保護区
	電波天文台への影響からルート帯の配置が不可能なエリア

※山梨県内については、ルート帯内での詳細なルートの検討に際し、住宅地・集落、別荘地等への影響に配慮
 ※長野県側のIC概略位置については、今後の詳細なルートの検討の中で決定

～ 本日の説明 ～

1. 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）

2. 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）

3. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置の考え方について（長野国道）

4. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置について（長野国道）

長野県の地元意見把握の取り組み状況

長野県では、県が窓口となり、沿線自治体と連携・協力しながら地元の意見をお聴きするなど地元合意形成に向けた取り組みを実施し、その結果を踏まえ、南佐久郡6町村としての中部横断自動車道（長野県区間）の計画に関する意見を集約

	目的	メンバー	開催状況
勉強会	道路計画への理解を深め、道路建設が地域にもたらすものを住民と行政が一緒に考える勉強会を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民 ・ 長野県 ・ 地元自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年 7月29日：南牧村（第1回） ・ H28年10月20日：南牧村（第2回） ・ H28年10月25日：川上村（第1回） ・ H28年12月14日：南牧村（第3回） ※小海町における住民意見の把握は、町主催の地区懇談会（H28年10月6日～11月8日）において実施
みらい会議	「中部横断自動車道がどのように活用できて、地域の活性化に繋げていくことができるのか」また、「道路の整備効果を最大限に発揮できるような道路計画はどのようなものか」などについて、検討する場としてみらい会議を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間団体 ・ 住民代表 ・ 長野県 ・ 地元自治体 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年11月22日：川上村 ・ H28年12月21日：小海町 ・ H28年12月26日：南牧村（第1回） ・ H29年 1月12日：南牧村（第2回）
南佐久郡全体会議	みらい会議等で自治体毎にまとめられた意見を、南佐久郡6町村の意見として、調整・集約するために、調整会議を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県 ・ 地元自治体（6町村） <ul style="list-style-type: none"> ・ 小海町 ・ 佐久穂町 ・ 川上村 ・ 南牧村 ・ 南相木村 ・ 北相木村 	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年 2月 2日

◆ より具体的なルート帯について

- 現在建設中の八千穂高原 I C の位置、優良農地への影響、地域の利便性などを考慮し、国道 1 4 1 号の西側が望ましい。
- 極力、集落や優良農地を避けて欲しい。
- 高速道路の日影による国道 1 4 1 号の路面凍結を避けるため、国道の横断は最小限にすることが望ましい。

◆ インターチェンジの概略位置について

- 観光地や沿線町村へのアクセス性が良い場所として、松原湖付近、南牧村役場付近、野辺山原付近に設置することが望ましい。
- 地域住民の利便性などを考慮し、国道 1 4 1 号に近い箇所が望ましい。
- 全て政策 I C として整備して欲しい。

◆ その他

- 早期着工、早期開通を強く望む。
- 周辺の土地利用状況を考慮して、必要な箇所には側道を整備することが望ましい。
- 広い堆雪帯を確保することが望ましい。
- 土地をなるべく潰さないような工法を選定することが望ましい。
- 現在、示されている1キロ・ルート帯と3キロ・ルート帯の接合部については、緩やかな擦り付けによりルートが繋がるよう、柔軟に対応して欲しい。
- 引き続き、無料区間として整備して欲しい。
- 地域の自治体としても、住民をはじめ関係者とコミュニケーションを深め、協力して全線開通に向け努力していくので、国としても最大限の協力をお願いしたい。
- 住民が心配する農地への影響については、機能の代替案も含め、県及び町村が連携して検討してまいりたい。

～ 本日の説明 ～

1. 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
2. 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
3. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置の考え方について（長野国道）
4. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置について（長野国道）

◆ より具体的なルート帯について（意見集約結果）

- 現在建設中の八千穂高原 I C^{やちほこうげん}の位置、優良農地への影響、地域の利便性などを考慮し、国道141号の西側が望ましい。
- 極力、集落や優良農地を避けて欲しい。
- 高速道路の日影による国道141号の路面凍結を避けるため、国道の横断は最小限にすることが望ましい。



◆ 1kmルート帯の考え方

- 千曲川左岸^{ちくまがわ}（国道141号の西側）のルートを原則とする
 - ・ 終点となる八千穂高原 I C^{やちほこうげん}は千曲川左岸^{ちくまがわ}であり、渡河が不要
 - ・ 国道141号は千曲川左岸^{ちくまがわ}に位置しており、右岸側とした場合は渡河が必要となり国道141号へのアクセス性等が劣る
- できる限り国道141号と併走
 - ・ 現在の国道141号沿いにある J A 集荷所・病院等へのアクセス性に配慮
 - ・ 災害時に広域迂回とならないよう配慮
 - ・ 山側を通過することによる構造物増加、コスト増に配慮
- 個別のコントロールとして以下に配慮
 - ・ 松原湖^{まつばらこ}の自然環境に配慮（八ヶ岳^{やっがたけ}中信高原^{ちゅうしん}国定公園の一部）
 - ・ できる限り、土地利用（小海^{こうみ}駅周辺市街地、集落、別荘地、優良農地）に配慮

◆ インターチェンジの概略位置について（意見集約結果）

- 観光地や沿線町村へのアクセス性が良い場所として、^{まつばらこ}松原湖付近、^{みなみまきむら}南牧村役場付近、^{のべやまはら}野辺山原付近に設置することが望ましい。
- 地域住民の利便性を考慮し、国道141号に近い箇所が望ましい。
- 全て政策ICとして整備して欲しい。

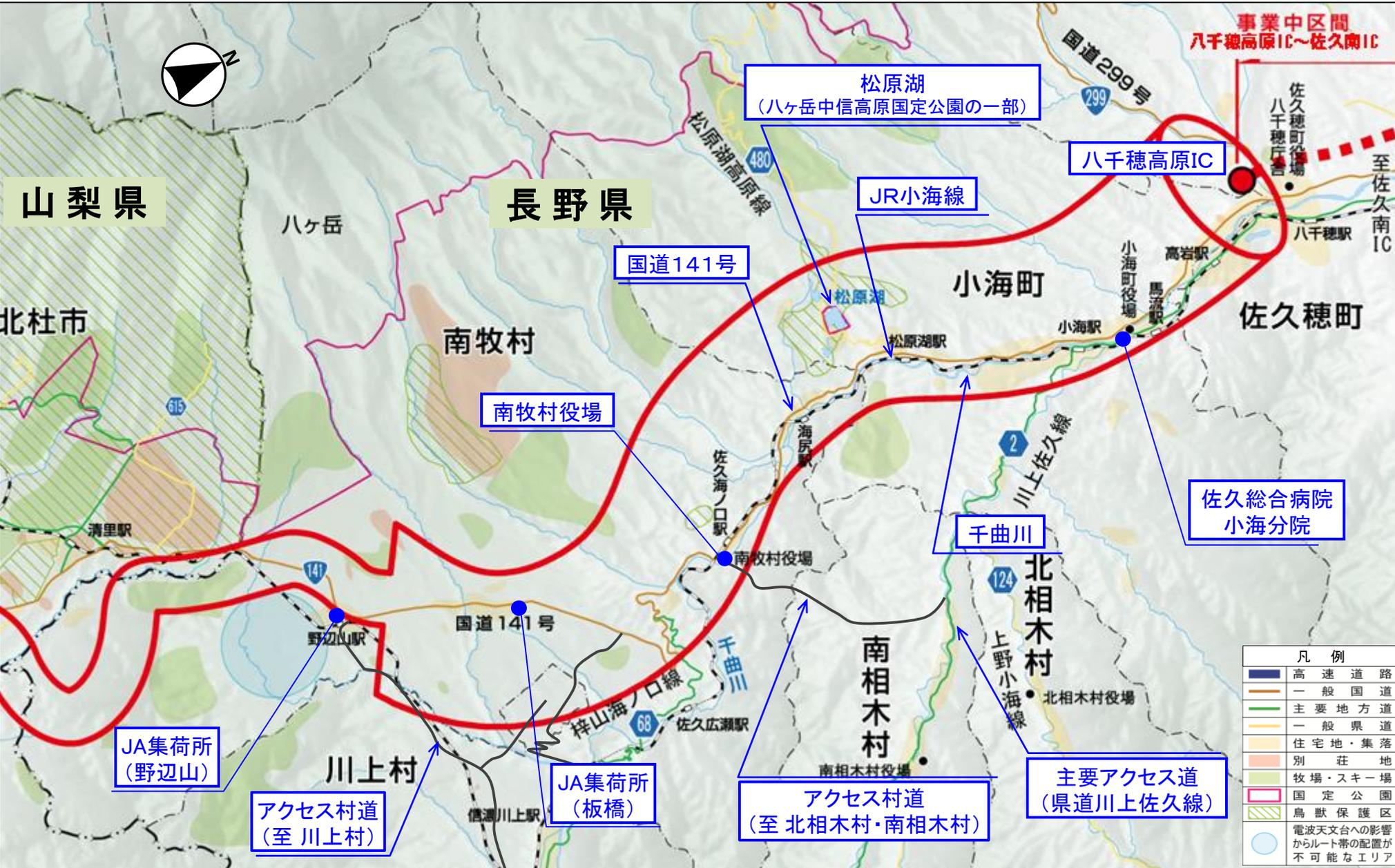


◆ ICの概略位置の考え方

- ICは以下の3箇所を基本
- ^{こうみまち}小海町
 - ・ ^{こうみ}小海駅周辺市街地、^{さく}佐久総合病院小海分院、^{まつばらこ}松原湖へのアクセス性に配慮
 - ・ ^{きたあいぎむら}北相木村、^{みなみあいぎむら}南相木村への主要アクセス道路（^{かわかみさく}県道川上佐久線）への接続に配慮
- ^{みなみまきむら}南牧村海ノ口付近
 - ・ ^{みなみまきむら}南牧村役場、集落へのアクセス性に配慮
 - ・ ^{きたあいぎむら}北相木村、^{みなみあいぎむら}南相木村へのアクセス村道への接続に配慮
- ^{みなみまきむら}南牧村野辺山付近
 - ・ ^{のべやま}集落、観光地、JA集荷所へのアクセス性に配慮
 - ・ ^{かわかみむら}川上村へのアクセス村道への接続に配慮

中部横断自動車道(長坂～八千穂)長野県区間

事業中区間
八千穂高原IC～佐久南IC



山梨県

長野県

松原湖
(八ヶ岳中信高原国定公園の一部)

八千穂高原IC

JR小海線

国道141号

小海町

佐久穂町

南牧村

南牧村役場

千曲川

佐久総合病院
小海分院

北杜市

八ヶ岳

清里駅

野辺山駅

国道141号

海尻駅

南牧村役場

川上佐久線

北相木村

上野小海線

北相木村役場

南相木村

南相木村役場

JA集荷所
(野辺山)

アクセス村道
(至 川上村)

JA集荷所
(板橋)

アクセス村道
(至 北相木村・南相木村)

主要アクセス道
(県道川上佐久線)

凡例	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	住宅地・集落
	別荘
	牧場・スキー場
	国定公園
	鳥獣保護区
	電波天文台への影響からルート帯の配置が不可能なエリア

～ 本日の説明 ～

1. 中部横断自動車道の経緯について（長野国道）
2. 長野県の地元意見把握の取り組みについて（長野県）
3. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置の考え方について（長野国道）
4. 長野県区間の1kmルート帯及び
ICの概略位置について（長野国道）

○ 平成30年4月25日 中部横断自動車道 早期実現に関する要望(1kmルート帯に関する要望) 【南牧村長 ⇒ 長野国道事務所長及び長野県建設部道路建設課長】

長野県建設部道路建設課長
下里 巖 様

中部横断
早期実現に



南 牧

国土交通省関東地方整備局長国道事務所長
塩谷 正広 様

中部横断自動車道
早期実現に関する要望



南 牧 村

【要望内容】

今後公表される1kmルート帯につきましては、みなみまきむら南牧村の総意である優良農地や集落などへの影響を極力避けるため、下記事項を反映して頂きますようお願い申し上げます。

- 一、生産性の高い優良農地に特に配慮すること。
- 一、国道141号沿線の保育園、小学校、のべやま野辺山駅周辺の集落に配慮すること。
- 一、今回のルート帯の絞り込みの検討にあたっては、上記を踏まえ、現在示されている3kmルート帯内では可能な限り西側とすること。また、現在の幅の異なるルート帯の接合部については、現在示されている1kmルート帯にとらわれず柔軟に検討すること。

◆ 1kmルート帯の考え方【計画調整会議(第1回)確認(H29.9.21)】

- 千曲川左岸(国道141号の西側)のルートを原則とする
 - ・ 終点となる八千穂高原ICは千曲川左岸であり、渡河が不要
 - ・ 国道141号は千曲川左岸に位置しており、右岸側とした場合は渡河が必要となり国道141号へのアクセス性等が劣る
- できる限り国道141号と併走
 - ・ 現在の国道141号沿いにあるJA集荷所・病院等へのアクセス性に配慮
 - ・ 災害時に広域迂回とならないよう配慮
 - ・ 山側を通過することによる構造物増加、コスト増に配慮
- 個別のコントロールとして以下に配慮
 - ・ 松原湖の自然環境に配慮(八ヶ岳中信高原国定公園の一部)
 - ・ できる限り、土地利用(小海駅周辺市街地、集落、別荘地、優良農地)に配慮

◆ 南牧村の1kmルート帯に関する要望【H30.4.25】

- 生産性の高い優良農地に特に配慮すること。
- 国道141号沿線の保育園、小学校、野辺山駅周辺の集落に配慮すること。
- 今回のルート帯の絞り込みの検討にあたっては、上記を踏まえ、現在示されている3kmルート帯内では可能な限り西側とすること。また、現在の幅の異なるルート帯の接合部については、現在示されている1kmルート帯にとらわれず柔軟に検討すること。

◆ ICの概略位置の考え方【計画調整会議(第1回)確認(H29.9.21)】

○ ICは以下の3箇所を基本

○ こうみまち小海町

- ・ 小海駅周辺市街地、佐久総合病院小海分院、松原湖へのアクセス性に配慮
- ・ 北相木村、南相木村への主要アクセス道路(県道川上佐久線)への接続に配慮

○ みなまきむらうみのくち南牧村海ノ口付近

- ・ 南牧村役場、集落へのアクセス性に配慮
- ・ 北相木村、南相木村へのアクセス村道への接続に配慮

○ みなまきむらのべやま南牧村野辺山付近

- ・ 集落、観光地、JA集荷所へのアクセス性に配慮
- ・ 川上村へのアクセス村道への接続に配慮

中部横断自動車道(長坂～八千穂)長野県区間 1kmルート帯(案)及びICの概略位置(案)

第2回計画調整
会議資料

供用区間
八千穂高原IC～佐久小諸JCT



計画調整会議(第1回)における
1kmルート帯及びICの概略位置の考え方

南牧村の1kmルート帯に関する要望

山梨県 長野県

北杜市

JA集荷所
(野辺山)

野辺山保育園

南牧南小学校

アクセス村道
(至 川上村)

南牧保育園

南牧村

南牧北小学校

南牧村役場

南牧村役場

JA集荷所
(板橋)

アクセス村道
(至 北相木村・南相木村)

南相木村

南相木村役場

千曲川

北相木村

北相木村役場

主要アクセス道
(県道川上佐久線)

松原湖
(ハケ岳中信高原国定公園の一部)

JR小海線

国道141号

小海町

佐久穂町

佐久総合病院
小海分院

凡 例	
	県境
	市町村境
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	住宅地・集落
	別荘地
	牧場・スキー場
	国定公園
	鳥獣保護区
	電波天文台への影響からルート帯の記置が不可能なエリア

中部横断自動車道(長坂~八千穂) 1kmルート帯(案)及びICの概略位置(案)

第2回計画調整
会議資料

中部横断自動車道(長坂~八千穂) L=約34km



凡例	
	ルート帯
	ICの概略位置(山梨県側)
	ICの概略位置(長野県側)

凡例	
	県境
	市町村境
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	住宅地・集落
	別荘地
	牧場・スキー場
	国定公園
	鳥獣保護区
	電波天文台への影響からルート帯の配置が不可能なエリア